

住みよいまち、益田

文化事業課 主事

坂本万由子

この4月から異動してまいりました、坂本です。島根県民会館では施設利用課という貸館窓口の業務に携わっていたので、勤務先も、業務内容も、居住地も、全てが変わり、新鮮な気持ちでいっぱいです。出身は鳥取の境港で、両親も島根東部出身なので、島根西部には縁がなく、益田に初めて訪れたのも、2年前にプライベートで

ることが多いのですが、ローカルな商品の取り扱いが多く、石見地方の様々な美味しいを楽しませてもらっています。

「建築家・内藤廣／BuiltとUnbuilt 赤鬼と青鬼の果てしなき戦い」を見に行った時だったので、知らない土地での生活にワクワクしています。

最近食べて感動したものは「益田アムスメロン」。キヌヤで、半玉700円で売っていたので、試しに買ってみました。その甘いこと！今まで食べたメロンの中で一番美味し

く、あまりの美味しさに、両親にもプレゼントで送りました。そしてメロンの美味しさに浸っている中で、

そういうえば春に食べた美都のいちごも美味しかったなとふと思い出しました。これから夏秋冬と季節が巡っていくので、それぞれの季節に、どんな美味しい食べ物が待っているのかと、今から楽しみで仕方ありません。

益田に来てからは、買い物はキヌヤです

そして、益田の美味しい情報がある

まず一つめは食べ物の美味しさ。野菜も、果物も、お魚もすべてが美味しく感じます。

公演の際には、ボランティアの皆さんがフロント業務を教えてくださいました。いつもありがとうございます。

れば、おススメいただけますと幸いです。

2つめは、湿度の低さ。益田は島根東部・鳥取西部よりも湿度が低い気になっています。

といいますのも、洗濯物の乾きの速さが全然違うからです。とある鳥取中部の地域に住んでいた時に、外干しをしていたら、服に大量のカメムシがついてトラウマになったことから、ずっと部屋干しをしています。なかなか乾かず、どうしたものか思っていました。しかし、益田に来てからは、朝干せば晩には乾くようになり、今までの乾かなさは、なんだったのだろうか、と、呆然としたのを覚えています。

また、肌にまとわりつくような湿度の高い空気を感ずることも少ないので、日々快適に過ごせております。

グラントワでの仕事面では、建物の構造や、物の場所を覚えることから始まり、文化事業課での業務の進め方を覚えるなど、勉強の毎日です。

公演の際には、ボランティアの皆さんがフロント業務を教えてくださいました。いつもありがとうございます。

これからも、益田の良さを発見していきながら、業務にも励んでいきたいと思えます。不慣れな部分もまだまだ多く、皆様にもご迷惑をおかけしておりますが、どうぞよろしく願います。



初めてグラントワに訪れた時に撮った写真。建物の美しさに感動し、写真を撮る手が止まらなかった記憶があります。



石見神楽 WEEK 期間に見かけて素敵だと感じたグラントワの壁に映る影絵。

グラントワの「色」と「いろ」

ギャラリートークグループ

内山京子

グラントワの石州瓦が季節や光線により、微妙な色の変化をする。それは私の楽しみのひとつです。

展示室Cは開放的な空間。六月二十三日迄は「コレクションにみる女性」お客様と作品を鑑賞しながらポシヨール、テキスタイルデザインについてお話ししました。草間彌生二点の作品の前では繊細な技法を見入るお客様草間の『かぼちゃ』を見て「直島へいつて見ましたよ」と何人かのお客様と話がはずみました。

展示室Cでボランテアをさせて頂いている時もいろんな「いろ」を感じます。企画展を鑑賞された後の熱のこもったお客様。企画展が閉幕し常設展だけの静かな美術館。ホールや中庭でイベントが開催されている時の回廊を行き交うお客様。夏、水盤ではしゃぐこども達。

展示室のボランテアは緊張しつつ今日はどんな「いろ」を感じるかな？と思いを巡らせお客様をお待ちして

おります。



イベントグループの年間行事

イベントグループ

中川和彦

今年度より再びイベントグループのリーダーになりました中川です。イベントグループは現在4名(男3女1)で以下の活動を行っています。また随時新たに入会していただける方を募集中です。見学体験も可能です。

① 七夕飾り

グラントワ回廊に竹を5本程度飾り短冊を取り付けた上で来館者にもお願い事を書いていただく短冊コーナーを設置します。

② 「グラントワきんさいデー」に

出店 グラントワ開館日(10月8日)に近い週末に会館を開放して行われる

大イベントに当グループも縁日を出します。出店内容は毎回変わります。

③ お正月飾り

グラントワ正面エントランスにオリジナル正月飾りを飾ります。内容も毎年少しずつ変えています。



回廊の七夕飾り

今年度は梅雨の時期も短く、6月後半には梅雨明け。その後、連日気温が高く、雨も降らず、7月3日には37.5度(津和野町)、日本一の暑さだったと翌日の新聞報道。

今年、グラントワ開館20周年、グラントワのボランテア会・「応援団通信」は、今回63号となります。

初めのころには、A4版4面刷り

で、グラントワの印刷機で会員自身が印刷し、折り機にかけ折りたたむ活動をボランテア室で行っていました。

現在は、年2回A4版1枚裏表での外注印刷。情報ボランテア会員の活動も軽減されています。

会員数は現在3名です。依然として人数は増えません。皆さん高齢化ですが、今のところは元気で頑張っています。

パソコン編集に興味のある方、「情報ボランテア」に入られませんか。原稿の構成編集の作業は自分のパソコンで行っていますが、最終の編集活動はグラントワのボランテア室での作業となり館長の点検を受け完了、データを渡して終了です。

7月4日には、「企画展 加藤泉 何者かへの道」を鑑賞し驚きの作品の数々に圧倒されました。

情報ボランテア

洗川光廣

